

## 実施主体、事業名などの概要

- ・事業名：『海と山が会えるまち』はんなん森里川海プロジェクト
- ・実施主体：阪南市
- ・対象地域：大阪府阪南市
- ・対象とする良好な環境：自然共生サイトである『阪南セブンの海の森』

## 地域の現状・課題

- 大阪都心圏にありながら府内唯一の半自然海岸など良好な環境が残り、市内小学生向けの海洋教育コンテンツも進んでいる。体験型コンテンツや特産品など、観光資源の芽はあるが、観光振興や受入体制は未整備である。

## 目指すべき姿（中長期ビジョン）

- 観光・経済・環境の循環型ビジョン  
「環境を活用した観光振興と経済循環の仕組みづくり」
- 市民参加・世代継承型ビジョン  
「市民と次世代が担う持続可能な環境保全コミュニティ」

### 実施項目（事業内での取組）

- ツアーの販売・受入
- 担い手の育成
- プロモーション動画作成
- 新たな体験型ツアーの企画

R7：資源を知る

R8：磨く・整える

R9：定着・広げる  
(事業期間終了後)

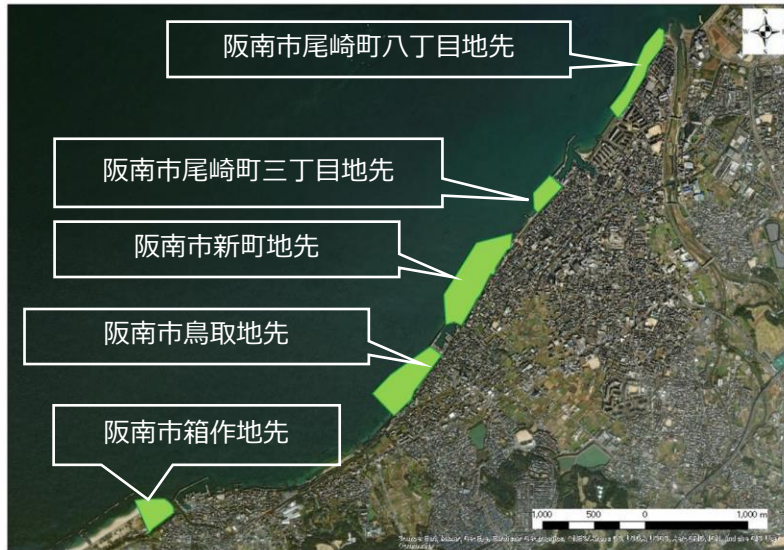
### 実施項目（事業内での取組）

- 海の現状把握、保全と活用施策
- 山の現状把握と課題整理
- 海と山が会えるまちの方向性立案
- コンテンツの磨き上げ・課題整理

### 実施項目（自走化）

- 保全と活用の好循環ルール試行
- 市民参加型コミュニティ拡充
- 市内観光受入体制の強化
- 観光コンテンツの拡大

# 対象となる良好な環境の概要

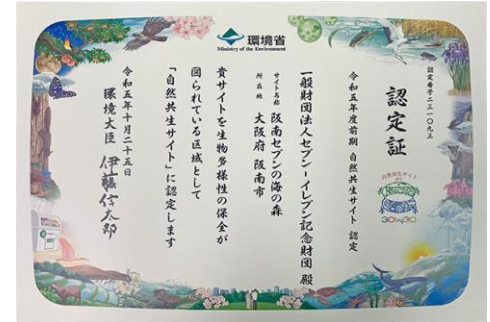


## 自然共生サイト『阪南セブンの海の森』

住所：阪南市尾崎町8丁目及び3丁目、鳥取、新町並びに箱作地先

面積：40.17ha

概要：阪南市はセブンイレブン記念財団と2018年～2028年の10年間の協定を結び、沿岸域にアマモの保全活動を行う「阪南セブンの海の森」プロジェクトに取り組んでいる。地域や民間との連携により「CO2削減」と「豊かな自然環境の再生」を進める「海の森」づくりとして、環境を始め、観光・産業、教育、暮らし、健康、スポーツなどの様々な分野の融合を行うことで、魅力の創出と地域の活性化を図るとともに、交流人口や関係人口の増加に繋げる。



## 良好な環境に係るストーリー

### □都会のすぐそばで「海と森がつなぐ小さな奇跡」を体感できる

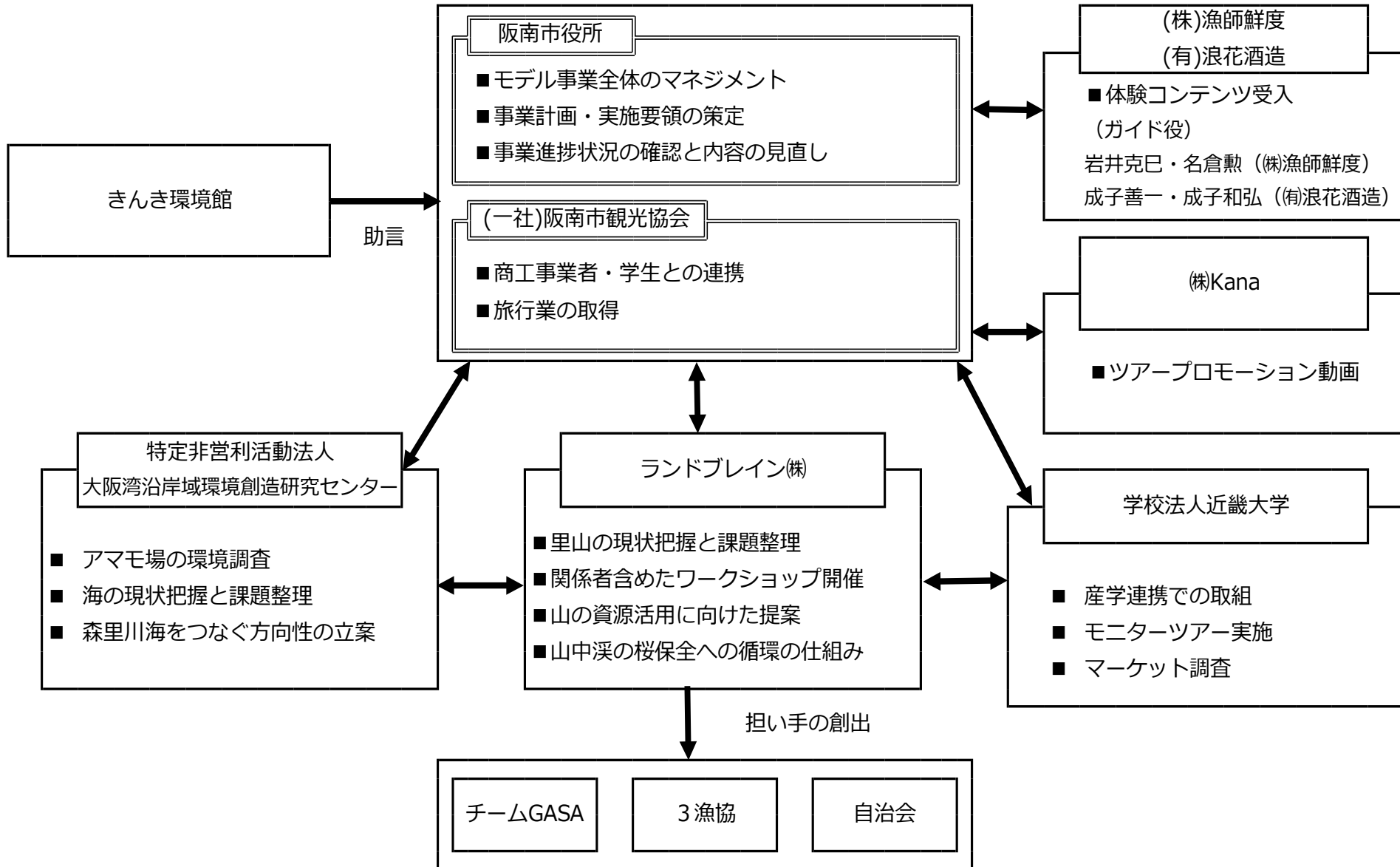
アマモ場が広がる大阪府最大級の自然海岸と、伏流水を生む里山が残り、海と山がつながる希少な環境が育まれています。すだて漁や牡蠣養殖、酒蔵体験などを通じて、訪れた人は海と山の恵みの循環を実感できます。地元の人々が守り続け

てきた自然に触れ、清掃などの保全活動に参加することもでき、観光が環境を支える仕組みを体験できます。阪南市では、遊ぶ、学ぶ、味わう体験が一つの物語となり、自然と人の関係を見つめ直すきっかけを得られる点が大きな魅力です。



# 実施体制（図示）

## 『海と山が会うまち』はんなん森里川海プロジェクト実施体制



## 【R7年度取組】

### 海の現状把握、 保全と活用施策【実施中】

- 海のコンテンツ（すだて遊び、カキ養殖等）の観光資源の可能性の検証
- 自然共生サイト「阪南セブンの海の森」の現状を把握するための沿岸域調査

### 山の現状把握と 課題整理【実施中】

- 山の管理や活用等を行っている関係者へのヒアリング調査（学生との協働）
- 関係者を集めた勉強会やワークショップの実施

### 海と山が会うまちの 方向性立案【実施中】

- 阪南市内における環境資源・観光コンテンツのうち、ツアー造成可能なものをスコアリングし上位2つ（西鳥取漁港・浪花酒造）コンテンツ最優先実施ツアーとする

### コンテンツの磨き上げ・ 課題整理【実施中】

- その他資源の課題整理
- コンテンツの磨き上げ
- ツアープロモーション動画
- 大学生と協働し幅広い世代の観光客を呼び込む

### 取組成果・ 今後のスケジュール

- 担い手である岩井氏より、すだて遊び、カキ養殖を観光コンテンツにすることで、海の環境保全や次世代への還元にもなると協力を快諾。海の現状把握・調査を行、アマモの種付けなどの環境体験型コンテンツ導入可否を12月末判断

### 取組成果・ 今後のスケジュール

- 関係者へのヒアリングを実施
- 関係者と学生を引合わせ実施
- 現状調査と課題整理（11月）
- 関係者との勉強会（11/13）
- 関係者とのWS（12/11）
- 山の環境を活用した観光の方向性立案（12月）

### 取組成果・ 今後のスケジュール

- プロジェクトメンバーで「魅力がある資源」を選定し、スコアリング。ガイドに関する課題も解消し、R8年度にツアー提供開始する。
- 海と山がであうまちの方向性立案（12月）環境に精通した岩井克巳氏を中心とした取組

### 今後のスケジュール

- その他資源課題整理（11月）
- コンテンツ磨き上げ（12月）
- ツアープロモーション動画は本年度は冬の動画素材の準備とし、完成は来年度とする。
- モニターツアー実施（1月）

## R7年度のゴール

- 関係者と連携し、市内の良好な環境資源の現状を把握するとともに、観光活用に向けたプログラム候補を選定し、令和8年に目指す「保全へ還元する循環型モデルの構築」に向けた基盤を整理する。

## 課題

- 地元自治会、NPO、漁業関係者、観光事業者などとの協力体制の仕組みが十分でなく、プログラム実施や保全還元の計画に影響を与える可能性がある。また、宿泊施設が少ないことから、日帰り、短時間で楽しめる観光プログラムの造成が必要であることから、令和8年度以降は、観光協会を中心とした各種団体との連携体制を整備し、短時間型プログラムの具体化を進める。



# 「阪南セブンの海の森」大阪都市圏(大阪湾)に残された数少ない自然系海岸と藻場

アマモ場の広がる生物多様性を持つ豊かな海  
多様な主体による保全・再生活動



アマモ場の再生活動に関しては、行政・NPO・学校・企業・漁協・市民が協働し、下記の年間スケジュールに沿って取り組んでいます。

4～6月: アマモ場の面積・株数調査、育てた苗の移植

6月: 花枝（種付き）採取

10～11月: 種まき（播種）、苗床づくり

豊かな海を利用した漁業・水産業・アクティビティ



良好な環境の保全・再生  
環境を活かした持続可能なまちづくりに向けて

## 岩井克巳

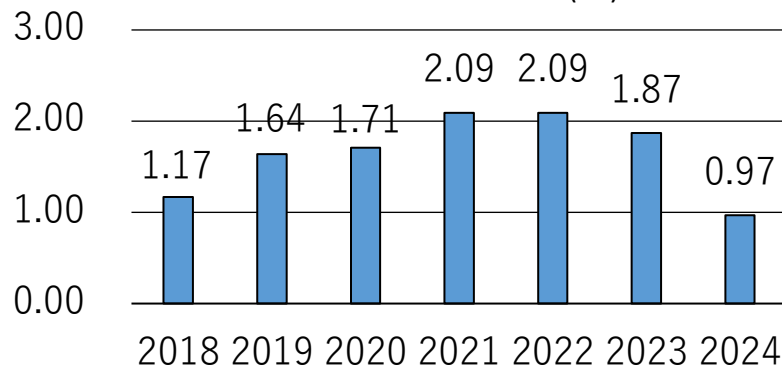
技術士（建設部門）／潜水士／水産工学技士

NPO法人海辺つくり研究会監事／NPO法人大阪湾沿岸環境創造研究センター専務理事／(株)漁師鮮度代表取締役／(株)MACS代表取締役／日本ミクニヤホールディングス(株)取締役／大阪湾見守りネット理事／チーム☆ガサ

- ・ 阪南市を中心に、アマモ場再生を核とした海洋教育、カキ小屋を核とした浜の活力再生を指導・実践。
- ・ 横浜を拠点とした全国の海の再生活動団体の実践・支援



阪南市アマモ場面積の推移(ha)



異常気象、台風等による海的环境変化

→アマモ場の減少・生物多様性の減少

阪南市HPより

ブルーエコノミー(Blue Economy) 環境と経済の好循環  
～海を守りながら、経済や社会全体をサステナブルに発展させる～

環境教育・研修機能の充実・強化、次世代への継承

阪南の海・大阪湾の保全・再生活動、情報発信

生物多様性の保全・向上、生態系保持

多様な主体との連携・協働によるSDGs推進、社会貢献の場の提供

持続可能な漁業・水産業振興

地域資源を活かした新規事業展開

ブルーカーボンプレジットの創出

# 活動報告①山の現状把握と課題整理

## 【山の関係者へのヒアリング】

### ■現状の森林管理状況

- ・松林は松くい虫で壊滅、タケノコ等はイノシシによる食害
- ・松枯れによる松茸狩りの採算性悪化による長期放置

### ■課題と問題点

#### ①経済的課題

- ・外材流入による木材売却価格の赤字化

#### ②人的課題

- ・個人管理の困難化（技能の継承が断絶）
- ・若者の山離れ、猟友会等の高齢化、後継者不足

#### ③環境的課題

- ・松くい虫、イノシシ、アライグマ被害の増加
- ・高温障害による果樹被害、不法投棄の増加

#### ④レクリエーション利活用

- ・ハイキングコースの案内板等のメンテナンスが出来ていない
- ・山の案内人、ガイドの高齢化による減少
- ・駐車場、トイレの確保

### ■今後の可能性と方向性

- ・ガイドの育成による活性化
- ・ツアー収益の一部を山の保全（課題解決への取組）に還元
- ・アウトドアメーカーとの協働による新たな観光資源の開発

## 【里山関係者との意見交換および有機農業体験】

実施日：2025年10月10日（金）

場所：ラーニングフィールド大阪

### 実施内容

#### ■参加者

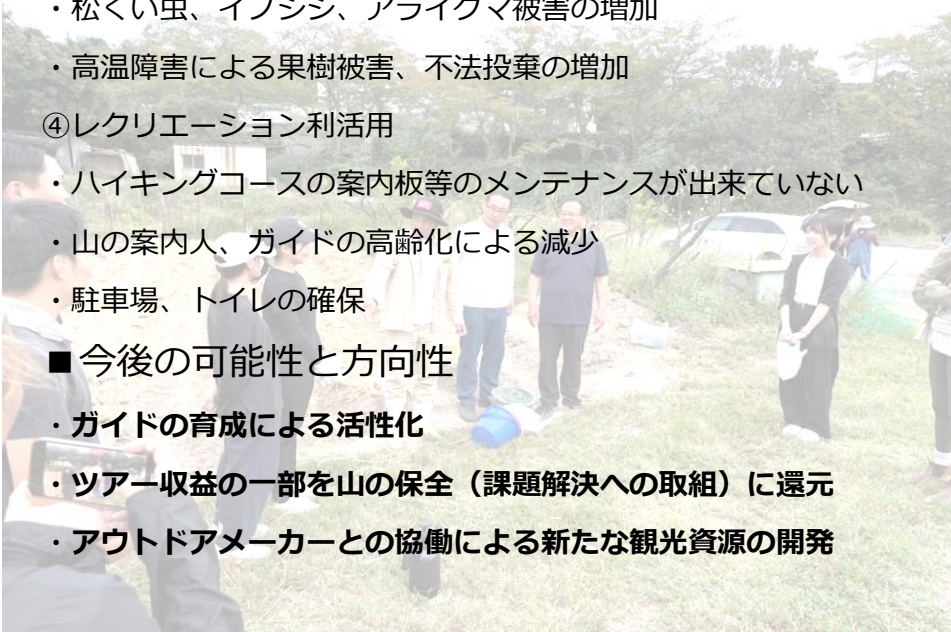
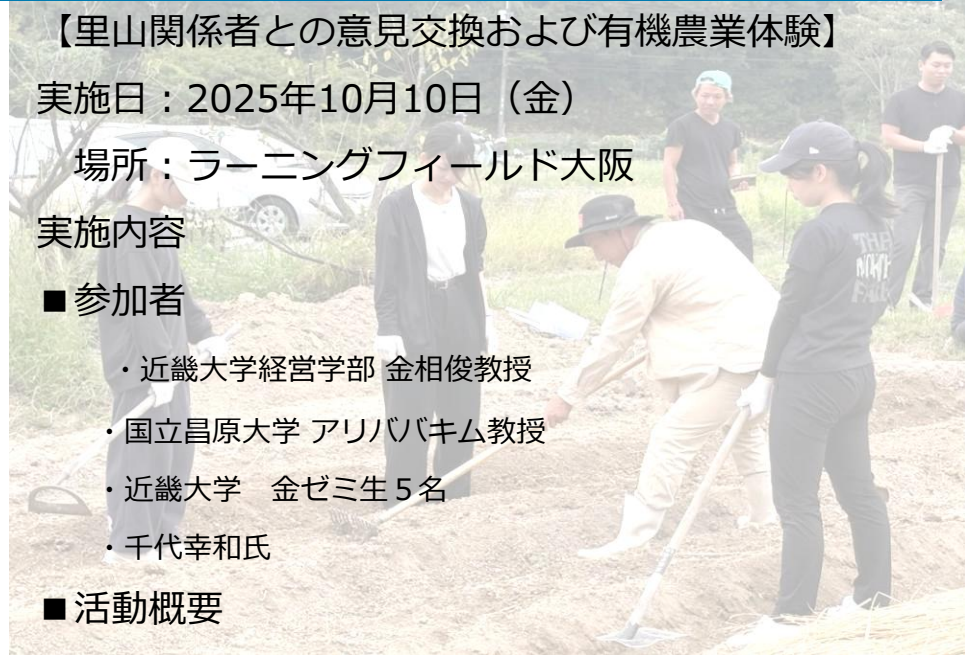
- ・近畿大学経営学部 金相俊教授
- ・国立昌原大学 アリババキム教授
- ・近畿大学 金ゼミ生 5名
- ・千代幸和氏

#### ■活動概要

- ・牡蠣殻粉末（西鳥取牡蠣小屋）を用いた土壌改良
- ・にんにく植え付け体験を通じた農業体験学習
- ・良好な環境を活用した観光コンテンツ造成と新たな特産品開発による観光振興に向けた意見交換

#### ■今後の可能性と方向性

- ・農業体験型のコンテンツ企画（古民家滞在型含む）
- ・山中溪の歴史的まちなみ散策（案内人付き）
- ・当市の新たな特産品の開発によるPR





# 阪南市内ツアー化候補2選

## 市内観光資源のスコアリングによる候補選定

プロジェクトメンバー

【阪南市】  
まちの活力創造課  
【観光協会】

雪合  
【その他】  
岩井克巳 (株)漁師鮮度  
成子善一 (浪花酒造有)



阪南市観光スポットBEST20			阪南市グルメスポットBEST20		
	名称	点数		名称	点数
1	かき小屋	19	1	漁師の家めし 泉州波有手 英進丸 名倉	14
2	すだて遊び	19	2	新生寿司	13
3	浪花酒造	18	3	波有手の牡蠣小屋	13
4	月化粧ファクトリー	16	4	中華料理 味楽	13
5	やぐら祭り	16	5	中華そばせんよし	13
6	匠のippin	16	6	青木松風庵 月化粧ファクトリー	13
7	いちご狩りの橘農園	13	7	やまよし	12
8	わんぱく王国	12	8	鯨でん	12
9	苔っこ	12	9	野菜巻き串バル ぼっぱ	12
10	山中溪 (やまなかだに)	11	10	中華料理 やぐら	12
11	嶺の峰ハイキングコース	11	11	中華料理 味楽	12
12	せんなん里海公園	10	12	ラーメン石松	12
13	阪南スカイタウン展望緑地	10	13	らーめん生島家	12
14	びちびちビーチ (箱作海水浴場)	9	14	らーめん吉兆夢	12
15	垣石山 (まないたいしやま) ハイキングコース	9	15	寿司 割烹 みやもと	11
16	清水太師	8	16	大規寿司	11
17	地福寺	8	17	中華工房五色園	11
18	桜の園	8	18	鴻福	11
19	玉田山古墳群	6	19	四川料理 蘭梅	11
20	波太神社 (はたじんじゃ)	6	20	果樹まる	11

## ツアー参加者に伝えたいストーリー

私たちが伝えたい阪南市のストーリーとは  
関西国際空港からわずかな距離で辿り着く「海と森の交差点」阪南市。  
阪南の里山には、澄んだ湧き水を生む森があり、その水は小さな川となって海へと旅をします。  
海ではアマモが揺れ、魚介を育て、牡蠣や魚の豊かな味わいへと姿を変えていきます。  
酒蔵の仕込み水もまた、この森が育んだ“いのちの水”。山の恵みが、酒の深い味わいや香りとなって息づいています。  
阪南の旅では、皆様自身が自然の循環にそっと溶け込んでいくような感覚を味わえます。  
～海から山へ、山から海へ～  
森里川海の繋がりに触れた瞬間、日常の忙しさがずっと消え、心に静かな豊かさが満ちていきます。



都会のすぐそばで  
「海と森がつながく小さな奇跡」

## 阪南市内ツアーコンテンツ

### プラン①

豊かな自然が育む阪南の海で食と体感！  
～関西初の『すだて遊び』体験～

#### 行程表

11:00 集合  
11:30～13:00 栄進丸名倉にて海の幸を堪能  
13:00～14:30 「すだて遊び」体験  
14:30～15:00 取れた魚の観察  
15:00～15:30 海と森がつながく小さな奇跡講座  
16:00 解散



### プラン②

歴史に触れ、手で仕込み、舌で確かめる。  
～浪花酒造、自然が育んだ三世紀の一杯～

#### 行程表

13:00 集合  
13:00～13:15 酒造りのビデオ鑑賞と歴史案内  
13:15～13:30 酒蔵見学(酒と山のつながり紹介)  
13:30～14:30 新酒の試飲と酒造り体験  
14:30～15:00 直売所での買い物  
移動 本宅敷にて酒造りのビデオ鑑賞と歴史に関する説明  
15:15～16:00 匠のippinにて阪南市の特産品の買い物  
16:00 解散



# 本事業を通して実現する「保全と活用の好循環」の仕組み

## 保全の具体的内容・方法

- ❑ 自然共生サイト『阪南セブンの海の森』の環境調査とアマモ場の保全・再生活動
- ❑ 森林整備（間伐・遊歩道整備）と山中溪の桜の植樹、銀の峰・俎石山ハイキングコースの整備・維持管理
- ❑ 里山整備・里地景観の維持
- ❑ 男里川河口部の自然干潟維持に向けた河川敷・水辺の清掃

## 活用の具体的内容・方法

- ❑ インバウンドから関心の高い体験型コンテンツの販売  
すだて遊び・潮干狩り・牡蠣を堪能する海のプログラムを本事業を通して「海の恵みを体験し、学ぶエコツーリズム」へ磨き上げる
- ❑ 清冽な伏流水で仕込む地酒の体験プログラム  
地域資源としての「水・環境・酒造り」を一体的に捉え酒蔵見学を「良好な環境の持続で地域文化を支える」プログラムとして実施。

## 活用から保全への還元方法

- ❑ 海では、事業者がこれまで実施してきた「すだて遊び体験」や「牡蠣小屋」に加え、アマモ場の観察や山から海へ続く栄養循環を学ぶ環境体験を組み込んだツアーを実施し、収益の一部をアマモ場の保全・再生や里山保全に還元する体制を整える。これにより、事業者自身の環境意識の向上とともに、地域環境を守る具体的な行動につながる。酒蔵コンテンツでは、酒造りに不可欠な伏流水が山の健全な環境によって支えられていることを改めて実感し、水源地保全への取組強化へと意識が高まる。海と山の事業者がそれぞれ「環境発信の担い手」となることで、観光と保全が一体となった地域モデルが形成され、他の事業者への波及効果も期待できる。旅行者に対しても、自然体験を通じたSNS発信や、海岸清掃・環境整備など、観光行動が直接環境維持に寄与するコンテンツ造成も検討していく。さらに、新たな海のアクティビティや農村体験など、体験と保全を結び付けたコンテンツを創出し、より選択肢を広げることで、多様な主体が参加する循環型モデルの構築を目指す。
- ❑ 阪南市の自然や環境に魅力を感じた人が、リピーターとして訪れ、地域と関わりを深めていく。そんな“阪南ファン”を増やすことで、持続的な関係人口の広がりを目指す。



## 【R8年度取組】

### ツアーの販売・受入

- ❑ 西鳥取漁港での海洋教育と体験型ツアーを販売。
  - ・すだて遊び体験（6～9月）
  - ・牡蠣堪能&牡蠣割体験（冬）
- ❑ 環境意識の高い地域のターゲットینگとモニタリングをもとにツアー販売

### 担い手の育成

- ❑ 漁業関係者や海洋ボランティアとの協働体制を強化
- ❑ 漁業関係者+地域住民の協働ガイド養成
- ❑ 関係人口の拡大
- ❑ 市内のネットワークより新たな海と山の担い手を創出

### プロモーション動画作成

- ❑ 1年目から撮り貯めたツアーの魅力を動画にして発信。
- ❑ 市役所、観光協会、SNSなどより発信。その他その他市外イベント等でも阪南市の環境を活用した観光モデル動画として上映

### 新たな体験型ツアーの企画

- ❑ インバウンドから関心の高い酒造メーカーでの体験ツアー造成に向けた企画立案と関係人との連携
- ❑ 里山でのコンテンツ造成と販売に向けたフィールドワーク
- ❑ 保全と活用の好循環の仕組み

### 想定する成果

- ❑ 実際にツアーを実施する中で発生する課題を改善していくことで、ツアー自身がより醸成されていく。
- ❑ 「阪南市＝良好な環境資源を体験できるまち」として対外的な認知度が以前よりも上昇

### 想定する成果

- ❑ 漁業関係者や海洋ボランティアがホスト役になることでツアーの付加価値が向上する。
- ❑ ツアー参加者の一部がリピーターとしてふるさと納税額が向上する。

### 想定する成果

- ❑ 動画を見た方の来訪意識が高まり、実際のツアー参加者増が見込まれる
- ❑ 「阪南＝良好な環境を活用した観光できるまち」のイメージが出来ていく

### 想定する成果

- ❑ 提供できる観光商品ラインナップが増え、組み合わせ方法の拡充により地域全体のツアーに厚みが出る。
- ❑ 周辺飲食店などの地域消費の拡大

### R8年度のゴール

- ❑ 環境を活用した体験ツアーを販売し、保全へ還元する循環型モデルの原案構築
- ❑ 持続的にツアーが運営できる仕組みづくり

### 想定される課題

- ❑ 悪天候時の対応策
- ❑ 市外・府外・国外への認知度不足による参加者確保の難しさ